Angeline EIJSINK（Netherlands）

アンジェリエン・エイジンク（蘭）

Vice-President of the NATO PA

NATOPA 副会長

アンジェリエン・エイジンク氏 は、2003 年以来オランダの国会議員で労働党に所属している。彼女は、当選以来、防衛と安全保障を重視してきた。彼女は 2011 年から副委員長であった外務常任委員会の委員長に 2012 年就任した。彼女は、議会人として「退役軍人（ベテラン）法」を発議し、2011 年にオランダの議会で採択された。外務委員会、防衛委員会に加えて、彼女は、欧州問題事象、公共支出、外国貿易と開発協力、住宅と中央政府関連及び王国関係等の委員会の委員でもあり、オールラウンドな国会議員として活躍している。

エイジンク女史は、2007 年以来 NATO PA のメンバーである。彼女は 2014 年にハーグの年次総会で副会長に選出された。その前は、2011 年から「将来の安全保障と防衛能力（DSCFC）」 に関する下部委員会の副議長を務めた。また、過去数年にわたって積極的に防衛安保委員会の活動に参加している。ハイライトは、2008 年に、欧州連合軍司令官（SACEUR） とともにアフガニスタンの ISAF のミッションを訪問したことである。国会議員として、防衛、外交及び国際安全保障にかかわる幅広い分野の計画に積極的に活動して来た。現在、彼女はオランダ大西洋協会の理事であり、退役軍人協会の推薦委員会のメンバーでもある。以前は、彼女はヨーロッパ安全保障研究センターの理事であり、BUC（ベネルクス大学センター）教授会「軍隊と社会」の諮問委員会メンバーである。2012 年に彼女は COSAC（欧州連合の連合問題に関する議会委員会会議）のメンバーとして参加した。

エイジンク女史は、保育園教師として教育を受け、1979 年から 1991 年までの間様々な教育の職務についた。この期間、教育のプロジェクトのコーディネーターとして 1985 年から 1987 年の間フィリピンで働いた。彼女はまた非西洋社会の文化人類学・社会学でライデン大学の学位を取得している。国会議員になる前は、彼女は外務省で種々の職務を経験しているが、そのほか、国際文化政策課の課長代理としても勤務している。2002 年からは彼女はサハラ以南アフリカ局の局長でもあった。

Hugh BAYLEY （United Kingdom）

ヒュー・ベイリー（英）

Former President of the NATO PA

前 NATO PA 会長

ヒュー・ベイリー卿は、1992 年、ヨークの労働党議員として選出され、 1992 年から 1997 年の間、英国下院健康特別委員会の委員となった。1997 年 5 月、当時保健相であったフランク ・ ドブソン 議員の議会秘書官に就任した。彼は 1999 年 1 月から 2001 年 6 月の間、社会保障相を務めた。

2001 年 7 月、ベイリー卿は、国際開発特別委員会委員に任命され、 また、続く 2005 年から 2010 年の選挙後にも再任命された。公共予算委員会、下院の全委員会の議長経験者委員会のメンバーであり、英国下院の第二議場における議論に参加している。

2005 年 10 月から 2008 年 10 月までの間、「民主主義のためのウエストミニスター財団」の会長を務めた。ベイリー卿は、アフリカ全党議員グループの創設者で会長でもある。彼は、以前 OSCE 議員会議のイギリス代表委員であり、連邦議会イギリス支部の会長であり、世界銀行の議会ネットワークの会長でもあった。

彼は、NATO PA に 1997 年に初参加し、一般報告者、後に経済安全保障委員会議長、NATO PA 副会長等の要職を含むいくつかの要職を歴任し、2012 年 11 月から 2014 年 11 月年までの間、NATO PA の会長を務めた。

彼は議員に選出される前、フルタイムの労働組合の勤務者として、看護師や健康関係の労働者の給料や雇用条件について交渉にあたった（1975 年 - 82 年）。また、テレビのプロデューサーや国際放送信託の責任者として勤務し（1982 年 - 86 年）、ヨーク大学で経済と社会政策の講師・研究員も務めた（1986 年 - 92 年）。彼はキャムデンのロンドン自治区の評議員を務め（1980 年 - 86 年）、ヨーク健康機関 の理事でもあった（1987 年 - 90 年）。

Philippe VITEL (France)

フィリップ・ヴィッテル（仏）

Special Rapporteur of the Science

and technology Committee of the NATO PA

NATO PA 科学技術委員会特別報告者

1955 年 2 月 22 日、ツーロンにて誕生（Var）、整形外科医
政治活動と選挙の条項

- 2002 年 6 月 16 日に Var 地区の第 2 都市選挙区から選出
- 2007 年 6 月 16 日に最初の再選
- 2012 年 6 月 17 日に再選
- 国民運動連合（UMP）のための部秘書官
- 国民連合運動（UMP）のための NATO 及び OSCE を含む防衛担当国家秘書官

フランス議会における機能

- 国民運動連合（UMP）事務局委員
- 防衛及び軍隊委員会委員
- 国民運動連合 （UMP）の院幹事

代表団の会員

- 男女間における女性の権利及び機会の平等のための議会代表団団員

国際機関における機能

- NATO PA のフランス代表正会員
- 科学技術委員会の特別報告者

研究グループ

- 人道支援研究会会長
- 海洋、漁業及び海上主権研究会、チベット問題研究会、高齢化問題研究会、プレス研究会及び国内事故研究会の副会長
- 自閉症研究会、宗派研究会、芸術工芸研究会及びスペース研究会の理事

友好団体:

- フランス・ニュージーランド友好団体議長
- フランスとオーストラリア、セイシェル、オマーン及びジャマイカとの間の友好団体副議長
- フランスとアイスランド、イスラエル、ガボン及び米国との間の友好団体理事、バチカンについての国際研究団体副会長